

NBR Times

(株)日本バイオリサーチセンターの「今」を発信する、コミュニケーションマガジン

www.nbr.co.jp 創刊号 Vol. 1 2011.7

夏到来!!

夏バテ注意 熱中症対策してますか？
夏バテ防止にうなぎはいかが？

NBR 通信

NASH治療薬の開発に光

ミニフタを用いた特殊毒性試験

パーキンソン病モデルの評価用装置の増設

最新論文から思う

別冊NBR.com から
読者プレゼント

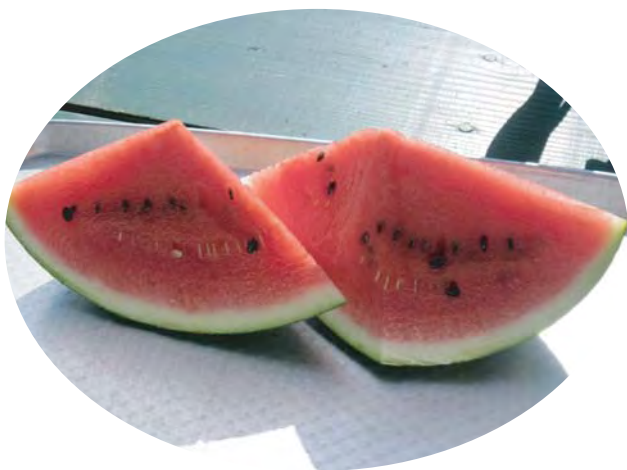
ヨツバヒヨドリの花とアサギマダラ

夏到来!!

暑さに負けずこの夏を元気に乗り切りましょう!

夏バテ注意 熱中症対策してますか?

昨夏がとて暑かったことは記憶に新しいのではないのでしょうか。2010年の熱中症による死者数は1718人で、統計を取り始めた1964年以降、最も多かったそうです(厚生労働省、2010年人口動態統計)。この理由に平均気温が統計史上最高だった猛暑が大きく影響したと考えられています。熱中症とは、体の中と外の「あつさ」によって引き起こされる、様々な体の不調であり、専門的には、「暑熱環境下にさらされる、あるいは運動などによって体の中でたくさんの熱を作るような条件下にあった者が発症し、体温を維持するための生理的な反応より生じた失調状態から、全身の臓器の機能不全に至るまでの、連続的な病態」とされています。その分類としては、軽症～重症に分けられており、症状としては、「四肢や腹筋などに痛みをともなった痙攣」や「失神」、「めまい感、疲労感、虚脱感、頭重感(頭痛)、失神、吐き気、嘔吐」などのいくつかの症状が重なり合って起こる場合があります。さらには、「意識障害、おかしい言動や行動、過呼吸、ショック症状」などが起こるとされています(熱中症のホームページ<http://www.heat.gr.jp/>)。東北関東大震災以降、節電対策がとられており、今夏はこれまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられます。首の周りを冷やす商品や保冷剤などがあり、扇子やうちわなど熱中症対策グッズを有効活用して、楽しい夏の思い出を残したいものです。



夏バテ防止にうなぎはいかが?

夏バテ防止といえば「うなぎ」ではないでしょうか。うなぎには栄養がたくさん含まれており、特にビタミンA(目の働きを助けます)、ビタミンB1(疲労回復)、ビタミンE(老化防止)、DHAやEPA(動脈硬化等を予防)が多く含まれています。だから、夏にうなぎを食べることは理に適っているのです。弊社があります、ここ岐阜県羽島市にも数多くの「うなぎ」屋があります。中でもお勧めなのが「うなぎ天」です。特に「うなぎひつまぶし」はやみつきになる美味しさで、うなぎの皮の香ばしさとのんりのアンバランスは絶妙です。「ひつまぶし」は名古屋近辺で食べられている、うなぎを用いた郷土料理で、薬味やだし汁を用い、3度の味を楽しめるのが特徴です。弊社にお立ち寄りの際は、お昼御飯あるいは夕御飯に是非一度、ご賞味下さい。



(住所: 岐阜県羽島市竹鼻町狐六1265-5)

NBR 通信

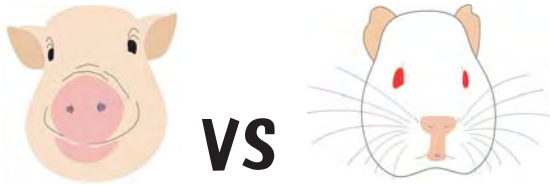
ミニブタを用いた 特殊毒性試験

2011年7月11日～13日にパシフィコ横浜で開催される、第38回日本トキシコロジー学会学術年会での発表演題の一部を紹介いたします。

ミニブタを用いた特殊毒性試験
—皮膚感受性試験、光毒性試験、皮膚光感受性試験—

Gottingen系ミニブタを用いて皮膚感受性試験、光毒性試験、皮膚光感受性試験を行い、モルモットの反応性と比較検討した。その結果、皮膚感受性試験では、ミニブタの皮膚反応はモルモットに比してやや強い反応を示す傾向がみられた。光毒性試験及び皮膚光感受性試験とも平均評点はモルモットの場合とほぼ同様であったが、出現パターンに違いが認められた。

試験名	皮膚反応の程度の比較	
皮膚感受性	ミニブタ	≧ モルモット
光毒性	ミニブタ	≧ モルモット
皮膚光感受性	ミニブタ	≧ モルモット



最新論文から思う

「平澤康史ら 四物湯配合生薬製剤の研究総説 漢方の臨床 57巻12号 2010年」

この論文では、現在医療の現場において、漢方製剤が中心的な役割を果たしている婦人科疾患をテーマに、著者らが検討してきた当帰・センキュウを中心とする生薬製剤の薬理学的研究成果を報告しています。この生薬製剤は、漢方処方でも基本処方として多く使用される「四物湯*」の構成に注目して作られています（一部抜粋）。

報告の中で使用されている病態モデルの「冷え性モデル」は、漢方生薬製剤の有効性を評価できるのを始め、医薬品や食品素材の評価に使われています。

「冷え」は、冬だけではなくエアコン管理された部屋で働くことが多い現代においては、夏でも、若い女性が悩まされている症状です。その対策の一つとして「ヒートテック」素材のインナーが爆発的に売られていて、少し前のデータではありますが、2008年に2800万枚売れたのには驚かされます。日常的な悩みを解決すべき商品を開発することで、かなりの経済効果が期待できるという事実ではないでしょうか。

東北関東大震災の際に色々な問題が浮き彫りになっています。「震災に学ぶ」ことで、被災者に役立つ研究・商品開発が進むことを期待したいと思います。

*四物湯

血液循環を良くして、体を温める作用があり、又ホルモンのバランスを整える事が期待出来る方剤。

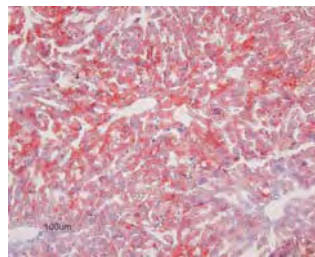
NASH治療薬の開発に光!!

皆さんは、非アルコール性肝障害 (Non Alcoholic Steato Hepatitis, NASH) という病気をご存知でしょうか。お酒の飲みすぎで発症するアルコール性肝炎に非常に近い病態を呈する病気で、原因はお酒ではなく、肥満、糖尿病、高血圧、高脂血症といったメタボリックシンドロームと言われています。

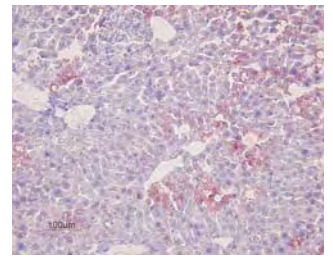
このNASHの恐ろしいのは、肝炎でとどまらず、稀に肝硬変、最終的には肝臓にまで進行する事です。メタボリックシンドロームの流行とともにNASHの患者数も多くなってきており早期発見・早期治療が肝要です。

弊社では、NASHモデルとして、C57BL/6N-NASHマウスを用いた試験系を確立しており、2011年7月8日に開催された第119回日本薬理学会近畿部会で発表しました。

ご興味のある方は是非お問い合わせ下さい。



NASH 病態群



薬物治療群

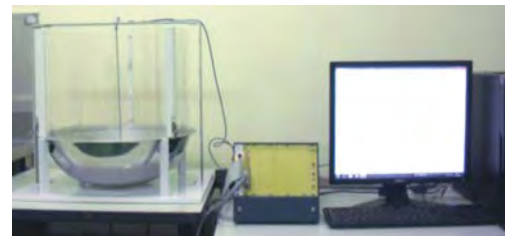
肝臓の組織像 (Oil red O 染色)

パーキンソン病モデルの 評価用装置の増設

パーキンソン病は、神経系が徐々に変性していく疾患で、震え、手足の硬直、姿勢異常、動作開始困難などの症状によって特徴づけられます。40歳以上ではおよそ250人に1人、65歳以上ではおよそ100人に1人にみられる疾患で、高齢化社会に伴い、アルツハイマー病と並んでますます患者数が増加することが予想されます。

パーキンソン病は、中枢神経系難病の中で唯一治療が有効な疾患ですが、その薬物療法は一生継続し、QOL (Quality of Life) を考えた場合、現状の治療は決して満足のいくものではありません。現在の薬物療法は対処療法に留まり、根本的な治療法の開発が求められています。

弊社では、げっ歯類のパーキンソン病モデルを用いた薬効評価の能力向上のため、パーキンソン病評価用装置を増設しました。これまで以上に、パーキンソン病治療薬開発のお手伝いが出来ればと考えております。



読者プレゼント

「奥飛騨高原水」は、奥飛騨のブナや落葉広葉樹の原生林に湧き出る、まろやかな口当たりが特徴の天然アルカリイオン水です。この奥飛騨高原水を使用し、「おいしい水を食べる」と言うコンセプトに基づいて作られた、「奥飛騨高原水の雫 紅茶のジュレ」は、これからの季節にピッタリのお菓子です。岐阜で有名なケーキ屋さん(フランボワーズ、<http://www.framboisier.jp/>)の商品で、岐阜羽島駅のキオスクでも購入できますので、弊社にお立ち寄りの際には、是非とも、岐阜ならではのおいしい水のジュレを味わってみてください。

今回は、この「奥飛騨高原水の雫 紅茶のジュレ」を抽選で5名の方にプレゼントさせていただきます。HPからご応募して頂き、この冊子についてのご感想、ご住所、お名前を記載ください。〆切りは9月末とし、当選者の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。多数のご応募、お待ちしております。



別冊NBR.com から

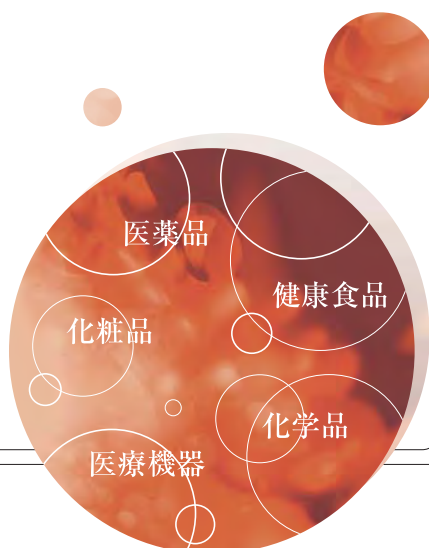
2011年4月12日に、弊社NBR内に情報発信チームを新設しました。このチームからは、弊社事業に関わるあらゆる分野に関して、弊社社員の目線で見たり・感じたりした事を発信していきます。皆さんが手にされているこの冊子「NBR Times」も、NBRの今をお届けするために作製しました。NBRの情報は、HP内の「別冊 NBR.com」(<http://www.nbr.co.jp/supporter/>)の中でも発信していきます。

岐阜の名所 金華山



標高329mの金華山の山頂に建つ岐阜城は、かつて、稲葉山城と呼ばれていた斎藤道三の居城でした。稲葉山城は1567年に織田信長により攻め落とされ、その名前が岐阜城と改名されました。金華山の山頂までは、いくつかの登山道が整備されており、気軽なハイキングコースとして、多くの人が訪れる場所になっています。登山道の一つ、「めい想の小径」は、途中で長良川や岐阜の市街地、揖斐の山々を眺められる、頂上まで2.3キロ、約50分のオススメのコースです。新緑が眩しいこれからの季節、是非ともお出掛け下さい。
(2011年4月26日 掲載)

いのち かけがえのない生命のために Preserving Precious Lives



薬効薬理試験

- | | | |
|---|--------------------------------|---|
| ●中枢神経系試験
うつ病、不安、統合失調症、認知症、
脳梗塞、疼痛過敏、他 | ●代謝系試験
動脈硬化、糖尿病、高脂血症、肥満、他 | ●消化器系試験
潰瘍、痔、便秘、下痢、他 |
| ●呼吸・循環器系試験
心筋梗塞、高血圧、不整脈、他 | ●肝・腎・泌尿器系試験
肝障害、腎炎、頻尿、腎不全、他 | ●炎症・アレルギー試験
アトピー性皮膚炎、花粉症、喘息、
関節炎、創傷、他 |

安全性試験

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| ●単回投与毒性試験 | ●局所刺激性試験 | ●安全性薬理試験 |
| ●反復投与毒性試験 | ●抗原性試験 | ●溶血性試験 |
| ●生殖発生毒性試験 | ●皮膚感作性試験 | ●細胞毒性試験 |
| ●遺伝毒性試験 | ●皮膚光感作性試験 | ●埋植試験 |



株式会社日本バイオリサーチセンター

<http://www.nbr.co.jp/>

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058-392-6222 (代表) FAX 058-392-1284